公式記録員　ルール研修問題①　解答

次の文章で正しいものに○、間違っているものに×を（　　）内に記入しなさい。(×の場合は理由を考えなさい。)

1	(×)	公式記録員は、ルールに明確に規定されていない事項については、自己の裁量で その決定を行うことができるので、大会記録長の助言があっても決定を変える必要がない。
2	(○)	カウント３－２で打者はきわどい球を見逃した。判定はボールだったが三振と勘違いして ベンチに帰ったので進塁放棄でアウト。打者に打数１を記録する。
3	(×)	試合時間には、気象条件・プレイヤーの負傷・抗議などによる中断を含む。
4	(○)	フェアの打球が投手板または各塁に触れたため、打者走者が一塁に達した。 普通の守備をしたとしても処理できないと判断したので安打を記録する。
5	(×)	一死、右翼前の打球を右翼手が処理し一塁へ送球した。 しかし送球が逸れ一塁はセーフとなったので、失策を記録した。
6	(○)	走者二塁。打球を処理した野手が三塁へ送球。走者をアウトにした。 一塁へ送球したとしても打者走者をアウトにできないと判断したので安打を記録した。
7	(×)	打者走者が塁打を伸ばそうとして、三塁をオーバースライドしてタッチアウトされた時、 三塁は通過しているので三塁打を記録した。
8	(×)	バントで三塁に進塁した走者がオーバーランしてアウトになった。 打者には犠牲バントは記録されない。
9	(×)	走者満塁。打撃妨害で走者が得点したが、 打者は打撃妨害（△２Ｅ）の出塁なので打点は記録されない。
10	(×)	打者が２ストライク後バントした打球が三塁線を越えてファウルボールとなった。 打球に最も近い三塁手にプットアウト（刺殺）を記録した。
11	(×)	一死一塁、三塁ゴロを二塁へ送球して二塁がセーフになったが、すぐ一塁へ送球。 打者走者を一塁でアウトにした。送球した三塁手にはアシスト（補殺）を与えない。
12	(×)	野手がフライ捕球後、競技場外に出たためペナルティで走者を進塁させたときは、 その野手に失策を記録する。
13	(×)	二死一塁、一塁走者が二塁へ盗塁した。捕手は盗塁を阻止しようとして投げた送球がそれ、 外野に抜けたので走者は二塁に達した。捕手に失策を記録する。
14	(×)	安打・四球・故意四球・死球・野手選択・三振振り逃げ暴投・三振振り逃げ捕逸により 出塁した走者は自責点の対象である。
15	(○)	自責点を決定するにあたって、自責点対象の走者が野手の失策、捕手または野手の打撃妨害・ 走塁妨害、捕逸、打撃時間延長後の打撃による走者の進塁などの要因を含んで進塁し、 その後得点したとしても非自責点である。
16	(×)	先発のＡ投手が１－０でリードしている４回表にＢ投手に交代した。 Ｂ投手が６回まで投げ７－０の６回コールドでチームが勝利したので勝利投手はＢ投手にした。
17	(×)	６回表終了時、１－０で勝っているとき、リードしているチームのプレーヤーが、 ケガして人員不足となり７－０で没収試合となった。 正式試合となっているので、個人およびチームの記録はすべて有効である
18	(○)	試合開始後に打順表のユニフォームナンバーの記入誤りが発見されたが、 訂正して試合を続行した。
19	(×)	Ｘ投手は、タイブレーカーの走者以外１人の走者も出塁させず、８回を完投して勝利したので、 完全試合（パーフェクトゲーム）を記録した。
20	(○)	先発投手が１球も投げずに救援投手と交代し、救援投手がその試合の全投球を行い、 安打の走者を１人も出さずに勝利を収めたので、 「無安打無得点試合（ノーヒット・ノーラン）」を記録した。